

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) について

参考2

- 2015年9月国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載。
- 2030年までの国際目標。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)、169のターゲットから構成。
(2017年7月国連総会で、全244(重複を除くと232)の指標が採択。)



①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。	⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。		